

国立情報学研究所の 学位規則改正対応

国立情報学研究所学術基盤推進部
学術コンテンツ課図書館連携チーム係長
前田 朗

説明内容

- ▶ 自機関での博士論文インターネット公開
 - ▶ 国立情報学研究所の機関リポジトリ支援
 - ▶ 共用リポジトリ(JAIRO Cloud)の特徴
- ▶ 国立国会図書館への博士論文本文PDFの提供
 - ▶ 機関リポジトリのメタデータ流通
 - ▶ IRDB改修と各機関のjunii2 ver 3.0設定変更
 - ▶ junii2 ver 3.0の変更概要(学位論文関係のみ)
 - ▶ IRDBへのデータ提供申請について
 - ▶ 国立情報学研究所のjunii2 ver 3.0対応スケジュール
- ▶ よくある質問とその回答

各機関の博士論文インターネット公開

- 自機関での博士論文インターネット公開
 - 機関リポジトリが原則（平成25年3月11日付 文部科学省令「学位規則の一部を改正する省令の施行等について（通知）」より）
- 国立国会図書館への本文PDF提出

国立情報学研究所が上記について、どのような支援を行うかを説明します

国立情報学研究所の機関リポジトリ支援

- CSI委託事業（コンテンツ系）
 - 平成24年度まで
 - 機関リポジトリの構築、先導的プロジェクト、コミュニティ支援

いままで

- 共用リポジトリ（JAIRO Cloud）提供
 - 平成24年度から開始
 - 新規に機関リポジトリを構築する機関に対し、環境を提供（既存のリポジトリからの移行についても今年度の実験）

現在118機関が申込

共用リポジトリ(JAIRO Cloud)の特徴

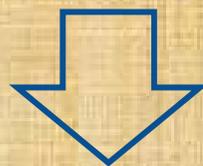
- システム管理が不要(コンテンツ管理に専念できます)
 - サーバーの設置・保守が不要
 - アプリケーションソフトにWEKOを使っており、Web画面レイアウトのカスタマイズ等が容易
 - アプリケーションソフト(WEKO)の自動バージョンアップ
- 100を超える参加機関によるコミュニティ

博士論文インターネット公開を機に、
機関リポジトリ新規構築をご検討の機関は、
ぜひ参加ください

詳しくは、<https://community.repo.nii.ac.jp/> まで

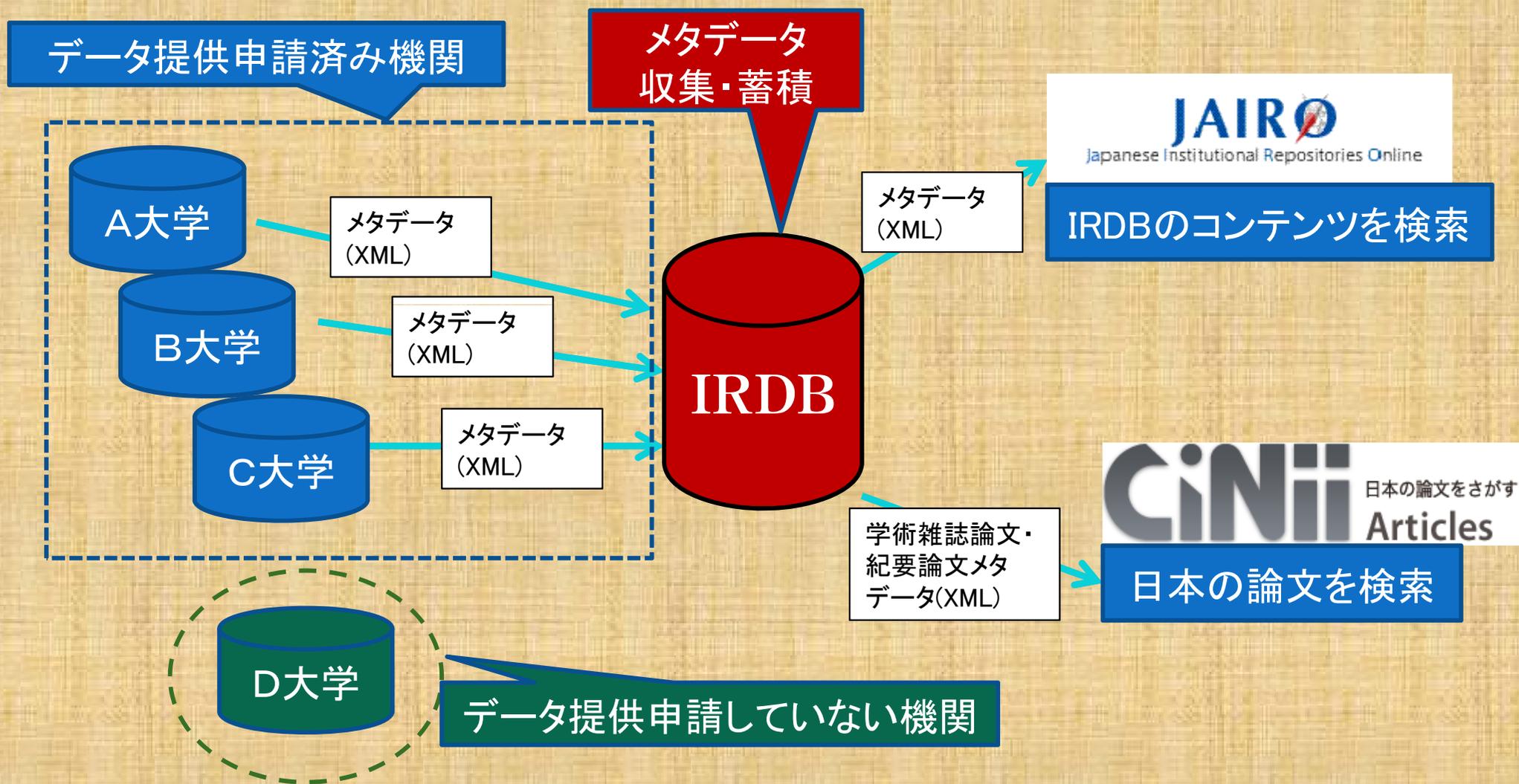
国立国会図書館への 博士論文本文PDFの提供

- 提出方法は2種類
 - 国立情報学研究所のIRDBによる仲介
 - 国立国会図書館に直接提出
- 国立国会図書館の本文PDF収集開始は、平成26年以降
 - それまでは自機関での本文PDF公開のみ



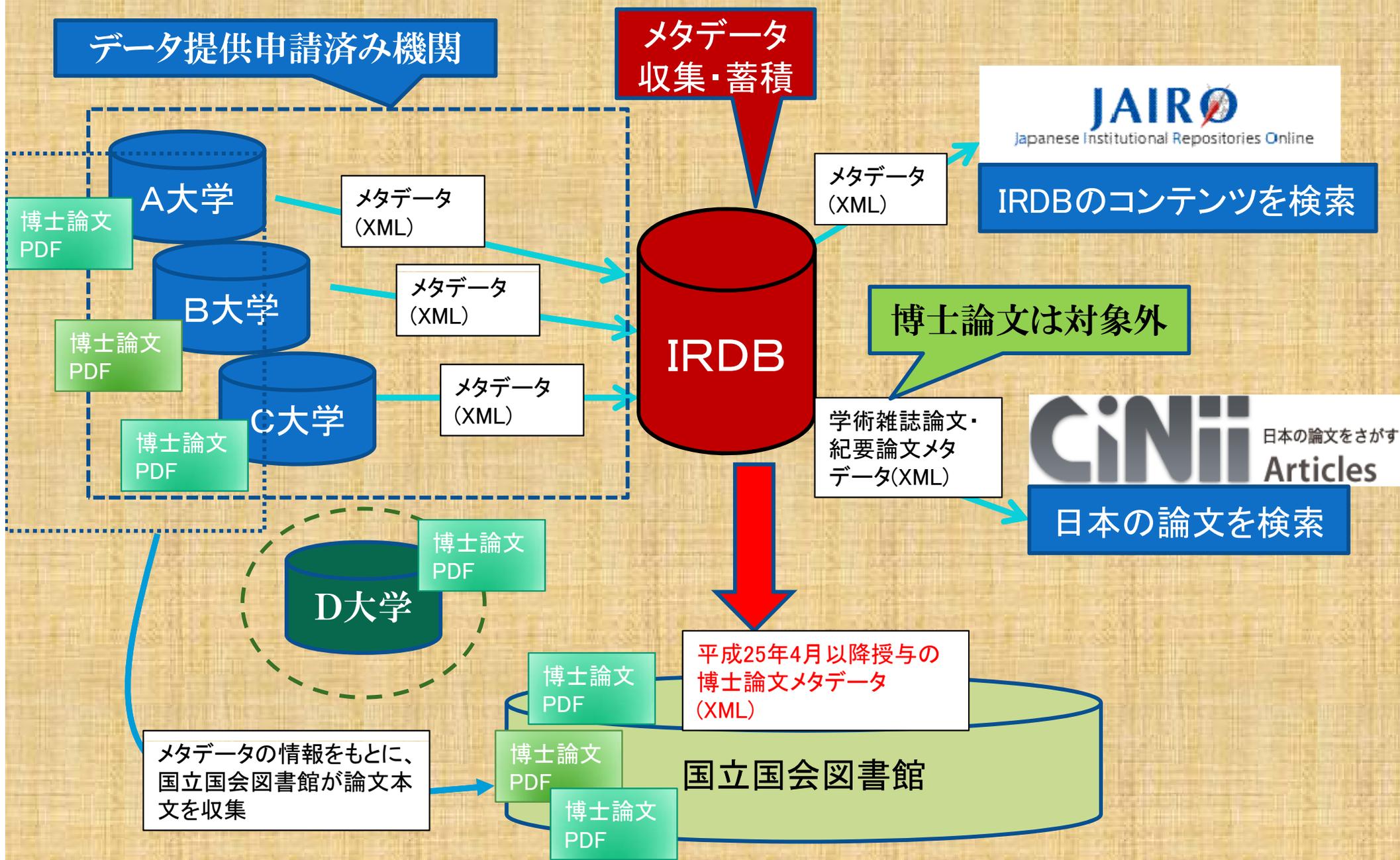
- IRDBに集まった博士論文メタデータを平成26年度以降に国立国会図書館に提出します。
- 自機関での公開は先に進めても大丈夫です。今年度以降の学位授与者の登録を行う前に各機関リポジトリでjunii2 ver 3.0のメタデータの入力をできるように設定変更等を行ってください。

機関リポジトリのメタデータ流通（現在）



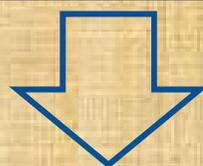
国立情報学研究所では、申請を受けた機関の機関リポジトリのコンテンツをIRDBに収集・蓄積

機関リポジトリのメタデータ流通（準備中）



国立国会図書館への 博士論文本文PDFの提供

- 提出方法は2種類
 - 国立情報学研究所のIRDBによる仲介
 - 国立国会図書館に直接提出
- 国立国会図書館の本文PDF収集開始は、平成26年以降
 - それまでは自機関での本文PDF公開のみ



- IRDBに集まった博士論文メタデータを平成26年以降に国立国会図書館に提出します。
- 自機関での公開は先に進めても大丈夫です。今年度以降の学位授与者の登録を行う前に各機関リポジトリでjunii2 ver 3.0のメタデータの入力をできるように設定変更等を行ってください。

junii2 ver 3.0の変更概要(学位論文関係のみ)

データ項目	変更内容	例	備考
学位授与番号	新規追加項目	12345A9876	科研費機関番号(数字5桁)[甲>A 乙>B 他>Z]報告番号
学位授与年月日		2013-06-30	YYYY-MM-DD形式
学位名		博士(理学)	
学位授与機関		国立情報学研究所	
著者版フラグ	博士論文の本文がある場合は、“ETD”を入力する	ETD	「やむを得ない理由」で要旨にする場合は、“none”を入力

※「国立情報学研究所メタデータ主題語彙集(資源タイプ)」(NIItype)の変更はありませんが、博士論文の場合は、“Thesis or Dissertation”を指定ください

「学位授与年月日が平成25年4月1日以降」かつ
「著者版フラグが“ETD”」のメタデータが
国立国会図書館の本文PDF収集対象です

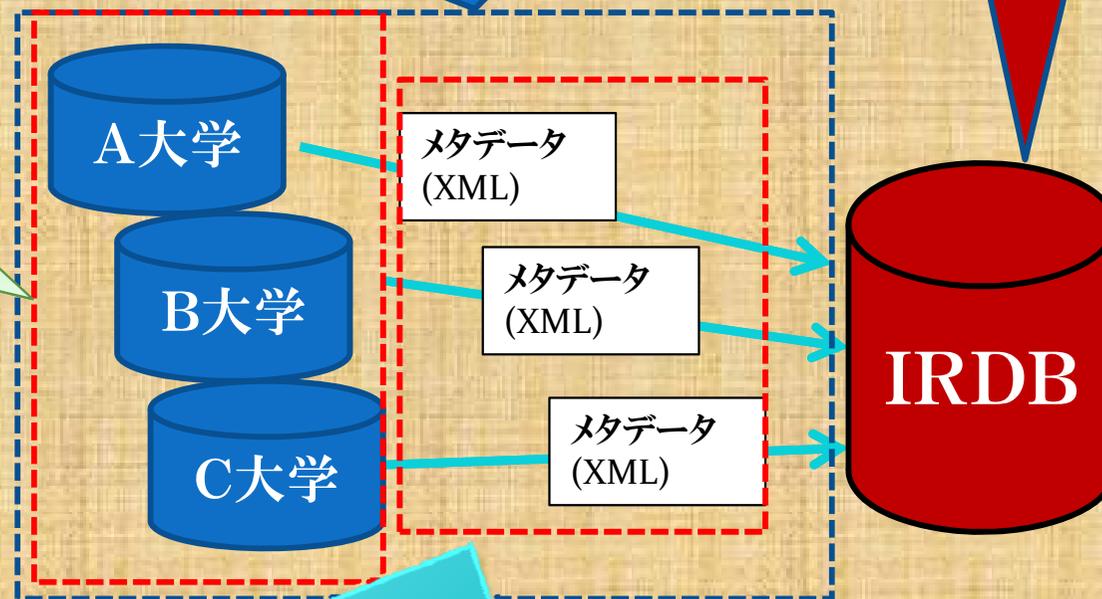
各機関のjunii2 ver 3.0対応

国立情報学研究所だけではなく自機関の機関リポジトリの設定変更も必要です.必要な設定変更は下図の①と②です.

①

junii2 ver 3.0のデータ項目を入力できるようにします

データ提供申請済み機関



② IRDBにjunii2 ver 3.0形式にメタデータを渡すように設定します

DRFのWebサイトにも情報があります。 <http://drf.lib.hokudai.ac.jp/>

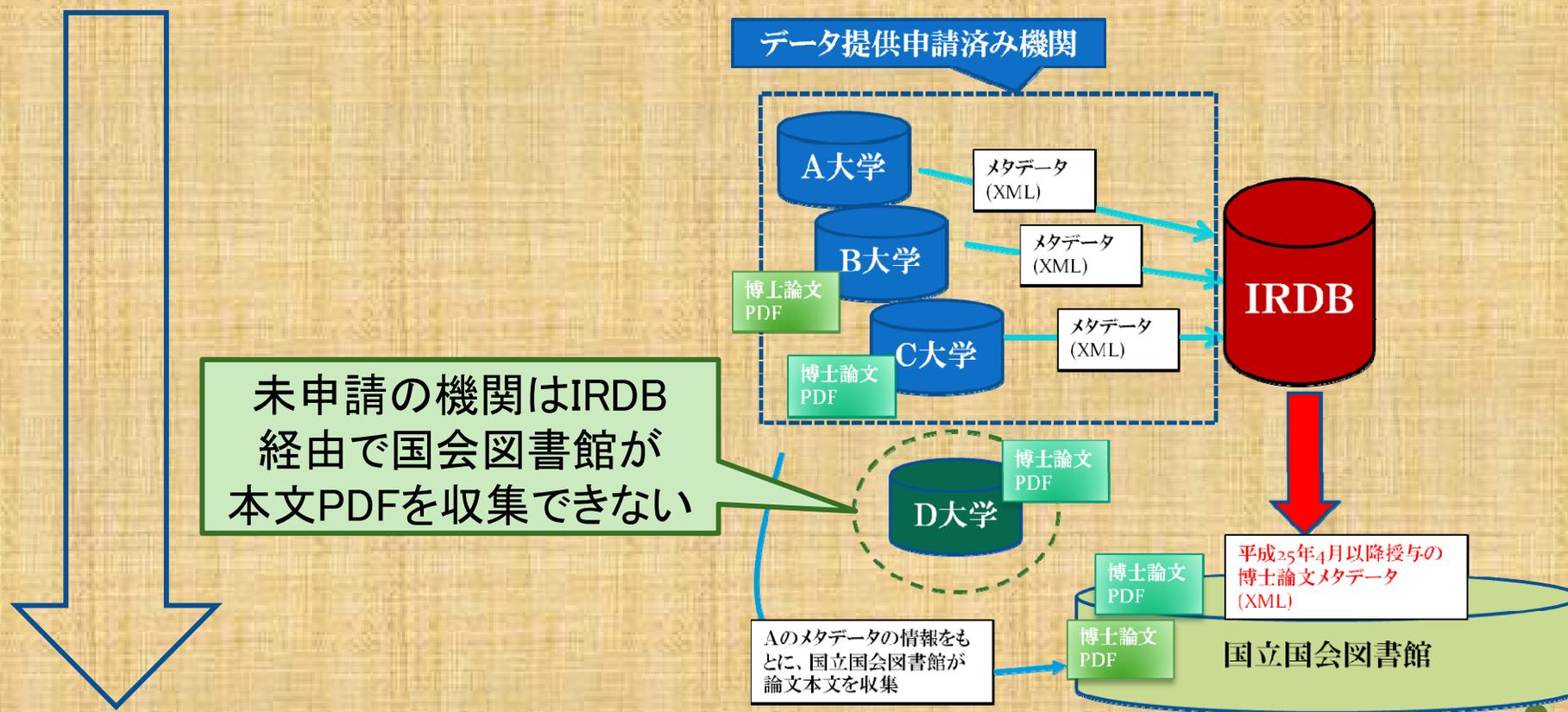
IRDB改修と各機関のjunii2 ver 3.0設定変更

- 国立情報学研究所のIRDBをjunii2 ver 3.0対応に改修中(6月下旬運用開始予定)です
- 各機関リポジトリ側でも対応(JAIRO Cloud参加機関を除く)が必要です。

各機関のjunii2 ver 3.0対応	IRDBの改修とのタイミング
データ入力対応	IRDBの改修にタイミングを合わせず、junii2 ver 3.0データ入力対応並びにデータ入力を進めて大丈夫です。
データ出力対応	junii2 ver 3.0形式での出力設定に変更しだい、国立情報学研究所まで連絡ください。 国立情報学研究所にて平成25年4月1日以降更新のメタデータを取り込み直します。 可能であれば、IRDBの改修までお待ちください。

IRDBへのデータ提供申請について

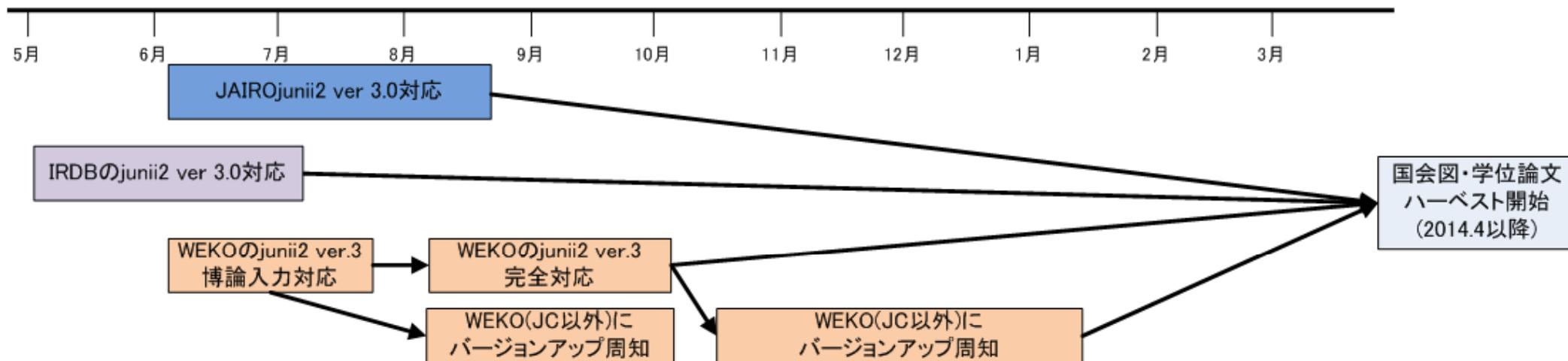
- IRDB経由で国立国会図書館に博士論文本文PDFを提出するには、申請を済ませている必要があります。



未申請の機関は申請をご検討ください

国立情報学研究所の junii2 ver 3.0対応スケジュール

国立情報学研究所・junii2 ver 3.0 対応スケジュール



よくある質問とその回答

Q1

Q.IRDBについてハーベストがいつ開始されるのか？

A.6月下旬を予定しています

Q2

Q.博士論文インターネット公開のため、機関リポジトリを用意したいが、JAIRO Cloudの申請にどのくらい時間がかかるか？

A.1か月程度で環境をお渡しします

照会先

国立情報学研究所

学術基盤推進部学術コンテンツ課

図書館連携チームIR担当

E-mail: ir@nii.ac.jp